

未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成

山口県 教育振興 基本計画

2018年度 ▶ 2022年度

計画策定の趣旨・計画期間

- 本県教育を取り巻く環境の変化や、本県の子どもの状況、国や社会の動向等も的確に捉えた上で、前計画の下で進めてきた取組を継承・発展させ、今後5年間の本県教育がめざす方向性と施策を示した新たな指針となる計画です。
- 本計画は、本県教育の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくための基本的な方針や取組を明らかにするものです。
- 教育基本法第17条第2項に定める本県における教育の振興のための施策に関する基本的な計画です。
- 計画期間は、2018年度から2022年度までの5年間です。

2018年10月
山口県教育委員会

教育目標、目標達成に向けて

◆ 本県の教育目標

未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成

- 人口減少や高齢化の進展、急速な技術革新やグローバル化の進展など、大きく変化が予想されるこれからの社会において、子どもたちが変化に対応しながら、主体的に未来を切り拓く力を育てていくことが必要です。
- このため、「生きる力」の育成をめざした前計画の教育目標「未来を拓く たくましい『やまぐちっ子』の育成」を継承し、知・徳・体の調和のとれた教育の推進や、教育環境の整備など、学校、家庭、地域が一体となった取組を推進します。

やまぐちっ子のすがた

教育目標「未来を拓く たくましい『やまぐちっ子』の育成」においてめざす『やまぐちっ子』の「すがた」を具体的に示します。

★ 高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人

- 一人ひとりの願いや思いを、未来への大いなる夢や理想へと高め、その実現に向けた強い意志を有している。
- 将来に対し希望をもちながら、自らを高めるための努力を惜まず、未知なるものへ進んで挑戦する態度や困難を乗り越える態度、新しいものを取り入れようとする態度を身に付けている。

★ 知・徳・体の調和がとれた生きる力を身に付けるとともに、他者と協働しながら力強く生きていく人

- 志をもちながら未来に向かって挑戦し続けるために必要な、学び続ける力やたくましさ、さらにはこれらを支える豊かな人間性を有している。
- 他者を思いやり、共感したり、感謝したりする心を有するとともに、他者と協働して自己のよさや可能性を見出し、個性を發揮しながら、主体的に考え、判断し、行動するなど、自主・自立の精神に富んでいる。

★ 郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人

- 豊かな国際感覚をもち、幅広い視野で考え、行動することができる。
- ふるさとの自然や人、伝統、文化を大切にす気持ちをもち続け、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与している。

◆ 目標達成に向けて

教育目標の達成に向けて、子どもたちに「3つの力」、「3つの心」を育成します。

3つの力

学ぶ力

「これからの社会において求められる、幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断を可能にする、生涯を通じて主体的に学び続ける力」

創る力

「社会構造が大きく変化する中、よりよい未来に向かって新たな価値を創り出す力」

生き抜く力

「自己を肯定し、社会の中で役割を果たす責任感や勤勉な態度を有し、多様な他者と連携・協働しながら、様々な困難を乗り越えていく行動力」

3つの心

広い心

「互いの人格や価値観を受け入れ、尊重するとともに、互いに理解し協力し合う、前向きで広い心」

温かい心

「人間に対する深い愛情や自然・生命に対する畏敬の念などを基盤とした、豊かで温かい心」

燃える心

「大いなる夢や高い理想をもち、その実現をめざす、不撓不屈の意志や勇気など、熱く燃える心」



施策の展開

総合的・計画的な施策の推進

教育目標である「未来を拓く たくましい『やまぐちっ子』の育成」に向けた、今後5年間に取り組む施策について、「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」「学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進」「生涯を通じた学びの充実」の4つの柱のもとに体系化し、それぞれの施策について主な取組や目標とする指標を示します。

知・徳・体の調和のとれた教育の推進

① キャリア教育の推進

- 小・中・高連携によるキャリア教育の効果的な推進
- 職場見学・体験、インターンシップ等の体験活動の充実

② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実

- 「組織力」「授業力」「連携力」による確かな学力の定着と向上
- 理数教育の充実
- 伝統や文化に関する教育の充実
- 道徳教育の充実
- 外国語教育の充実
- 職業教育の充実
- 主権者教育の充実
- 教育の情報化の充実
- 体験活動の充実

③ グローバルに活躍し、イノベーションを担う人材の育成

- 海外留学の促進
- 英語によるコミュニケーション能力の育成
- グローバルリーダーの育成
- 大学等での高度な学修の基盤となる学力育成（探究科）
- 体験的・探究的活動に重点を置いた理数教育の充実

④ 進路指導の充実

- 組織的、系統的・計画的な進路指導の推進
- 進学支援の充実
- 就職支援の充実

⑤ 読書活動の推進

- 学校における読書活動の推進
- 家庭や地域における読書活動の推進
- 山口県子ども読書支援センターによる支援の充実

⑥ 学校における人権教育の推進

- 人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にする教育の推進
- 教職員研修の充実
- 人権に関する資料の整備と活用の促進

⑦ いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への取組の充実

- 心の教育の取組の基盤となる開発的生徒指導の充実
- 問題行動や不登校の早期発見・早期対応に向けた組織的な取組の充実
- 学校・家庭・地域が連携した体制づくり
- やまぐち総合教育支援センター等の相談・支援体制の充実
- 緊急時等の学校への支援体制の充実

⑧ 体力向上の推進

- 体力向上に向けた組織的な取組の推進
- 指導方法の工夫改善による学校体育の充実
- 家庭や地域と一体となった取組の推進

⑨ 食育の推進

- 望ましい食習慣の定着に向けた学校・家庭・地域の連携による組織的・計画的な食育の推進
- 学校給食の充実
- 栄養教諭・学校栄養職員の更なる資質能力の向上

⑩ 健康教育の推進

- 望ましい生活習慣の確立に向けた学校保健（保健管理・保健教育）の組織的・計画的な取組の推進
- 現代的な健康課題の解決に向けた取組の充実

⑪ 特別支援教育の推進

- 総合支援学校における教育の充実
- 高等学校等における特別支援教育の充実
- 小・中学校における特別支援教育の充実
- 早期からの切れ目ない支援体制の充実
- 特別支援教育を推進する体制の充実

⑫ 幼児期における取組の充実

- 幼児期の教育と小学校教育の接続の促進
- 子育て支援の推進と地域協育ネットの活用

⑬ 少人数教育の推進

- 小・中学校における効果的な少人数学級の実施
- 少人数指導（複数教員による指導、学習集団の編成）の充実等



学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

⑭ 地域連携教育の充実

- 【やまぐち型地域連携教育の推進】
- 推進の核となる人材の派遣・養成
- 地域資源を活用した、子どもたちのふるさとを愛する心の育成
- 多様な人材の参画による地域ぐるみの活動の推進
- 放課後子ども教室の充実と放課後児童クラブとの連携促進
- 【コミュニティ・スクールを核とした地域連携教育の拡大・充実】
- （高等学校等）
- 学校・学科の特色や専門性に応じた、地域の活性化に直接貢献する、高校ならではの取組の推進
- （総合支援学校）
- 地域とともにあるコミュニティ・スクールの取組の充実
- 地域への障害に関する理解促進

⑮ 家庭教育支援の充実

- 意識啓発・情報提供の推進
- 保護者等への学習機会の提供
- 地域における相談・支援体制の充実
- 専門機関による相談・支援の充実

⑯ 社会教育施設等を活用した教育の充実

- 学校と青少年教育施設・地域が連携した体験活動の充実
- 山口図書館、山口博物館、文書館、埋蔵文化財センターにおける取組の充実

生涯を通じた学びの充実

⑰ 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

- 生涯学習情報の提供体制の充実
- 多様な学習機会の提供や活用促進
- リカレント教育の推進に向けた環境の整備
- 学習成果を生かす活動の促進
- 生涯学習推進のための人材育成

⑱ 地域社会における人権教育の推進

- 地域社会における自主的な取組への支援
- 人権教育指導者の養成
- 人権に関する資料の整備と活用の促進

⑲ 地域とともにすすめる文化財の保存・活用

- 文化財の地域一体での保存・活用
- 世界遺産登録及び日本遺産認定の取組の推進

⑳ 文化にふれあい親しみ環境づくりの推進

- 学校現場での優れた芸術にふれあう機会の提供
- 文化活動の発表の機会の提供
- 県立文化施設等との連携による企画展や講座等の充実

㉑ 「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進

- 生涯スポーツの推進
- 競技水準の向上
- 人材の育成
- 交流人口の拡大と地域の活性化

豊かな学びを支える教育環境の充実

㉒ 教育施設・設備の整備、教育環境の向上

- 県立学校の整備
- 市町立幼・小・中学校の耐震化等の促進
- 学校施設の防災機能の強化・充実

㉓ 学校安全の推進

- 学校教育活動全体を通じた「安全教育」の充実
- PDCAサイクルの確立を重視した「安全管理」の充実
- 教職員の資質向上と、総合的な学校安全の取組による「組織活動」の充実
- 安全意識・能力を育む「防犯を含む生活安全」の推進
- 自他の命を守る「交通安全」の推進
- 防災対応能力の向上を図る「災害安全（防災）」の推進

㉔ 学校における働き方改革の推進

- 業務の見直し・効率化
- 勤務体制等の改善
- 学校支援人材の活用

㉕ 教職員の資質能力の向上

- 教員の養成・採用・研修の一体改革
- 優れた人材の確保
- 教職員評価の充実
- 教職員研修の充実
- 学校内の人材育成
- ミドルリーダーの育成とマネジメント能力を有する管理職の育成
- 教育に関する調査研究機能の強化
- 教職員のメンタルヘルスの維持

㉖ 校種間連携・一貫教育の推進

- 校種間連携の推進（教育活動、教職員の連携）
- 中高一貫教育の更なる推進

㉗ 多様な学びのニーズに応える特色ある学校づくり

- 地域社会の教育力を活用した地域ぐるみの教育活動の推進
- 「県立高校再編整備計画」の着実な推進

㉘ 私学の振興

- 私学助成の充実
- 地域に開かれた幼稚園づくりへの支援
- 私立学校の耐震化の促進

㉙ 修学支援の充実

- 経済的理由により修学が困難な生徒・学生に対する支援
- 離島高校生に対する支援
- へき地や過疎地域等の児童生徒等の通学に対する支援



緊急・重点プロジェクトの推進

緊急課題や重点課題に対応するための7つのプロジェクトを設定し、重点的に推進します。

(1) 「地域教育力日本一」推進プロジェクト

「やまぐち型地域連携教育」の推進により、関係機関や首長部局とも連携・協働した人づくり・地域づくりの推進や、県立高校等による地域課題の解決に資する取組の充実、企業・大学等との連携に取り組み、「地域教育力日本一」をめざします。

(2) 教育を通じた「ふるさと山口」創生プロジェクト

ふるさとに誇りと愛着をもち、地域の産業・社会を支える人材の育成や、意欲と能力のある若者の県内定着の促進により、教育を通じた地方創生の実現をめざします。

(3) 確かな学力育成プロジェクト

「やまぐち型地域連携教育」の仕組み等を生かした地域や家庭と連携した取組や、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた実践的な研究、個々の児童生徒に対するきめ細かな指導体制の充実などの取組により、新しい時代に求められる資質・能力の育成を図ります。

(4) 豊かな心・健やかな体育成プロジェクト

児童生徒の規範意識の醸成や、暴力行為や不登校の減少、全てのいじめの解消をめざすとともに、道徳教育の充実や、体力向上、食育・健康教育の推進などに取り組み、子どもたちの豊かな心を育み、たくましく生きるための健やかな体の育成を図ります。

(5) 魅力ある学校づくりプロジェクト

様々な入学動機や学習歴をもつ生徒の多様なニーズへの対応や、高等学校等における「通級による指導」導入をはじめとした特別支援教育の充実など、多様な学びの期待に応える、魅力ある学校づくりをめざします。



(6) 教職員人材育成プロジェクト

高い志をもった教員志願者の養成や、地域とともに「山口県の未来を拓く」現職教員の育成に取り組むとともに、学校における働き方改革を推進し、子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の充実を図ります。

(7) 安心・安全な学校づくりプロジェクト

子どもたちが安全に、安心して教育が受けられるよう、「生活安全」、「交通安全」、「災害安全」に対する実践的な学びの導入を進めるとともに、学校施設の老朽化対策の推進や耐震化の促進を図ります。



主な推進指標

指標 No.	指標名	現状値	目標値(2022年度)	指標 No.	指標名	現状値	目標値(2022年度)
1	将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合(公立小・中)	小87.1% 中74.3%	増加させる	27	スタートカリキュラムの改善に向けて、幼児教育施設との意見交換や合同の研究の機会などを設けている公立小学校の割合	-	100%
2	地域と連携して「1/2成人式」や「立志式」を行っている公立小・中学校の割合	-	小・中100%	13	<指標5の再掲>	-	-
3	高校在学中に、体験的なキャリア教育(インターンシップ、大学・企業訪問等)を行った生徒の割合	-	高 100%	28	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることが児童生徒の割合(公立小・中)	小49.5% 中39.3%	小学校60.0% 中学校70.0%
4	全国学力・学習状況調査正答率の全国平均との比較(公立小・中)	(省略) ※本文参照	小・中学校全区分で全国平均を上回る	29	地域と小・中学校を通じた「学校・地域連携カリキュラム」の策定数	-	各中学校区で1以上
5	勉強が「好き」「どちらかといえば好き」である児童生徒の割合(公立小・中)	小64.1% 中62.4%	増加させる	30	地域協育ネットコーディネーター養成講座修了者数(累計)	259人	500人
6	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合(公立小・中)	小78.8% 中80.8%	増加させる	31	コミュニティ・スクールを導入し、地域と連携した学校・地域の課題解決に取り組んだ県立高校等の割合	31.5%	100%
7	中学校卒業段階で英検3級以上相当、高等学校卒業段階で英検準2級以上相当を達成した中高校生の割合	中学校卒業時: 37.9% 高校卒業時: 37.6%	中学校卒業段階: 50% 高等学校卒業段階: 50%	32	近隣の小・中・高等学校等のコミュニティ・スクールと連携した取組を実施した総合支援学校数	-	12校
8	ヤング・サイエンティスト拡大事業における小中学生対象の科学教室への参加者数	-	小・中 24,000人	15	「やまぐち型家庭教育支援チーム」の設置率	-	全中学校区の50%以上
9	やまぐちサイエンス・キャンプの参加高校生数	高 79人	高 100人	34	A F P Yアドバイザーの活動回数	363回	1,800回 (2018~2022累計)
10	高校生等の就職決定率	99.1%	100%に近付ける	35	山口博物館における「博物館学校地域連携教育支援事業」の利用者数	30,468人	150,000人 (2018~2022累計)
11	高校生等の県内就職割合	80.2%	85%以上	36	生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」情報登録件数	64,707件	75,000件
12	中学校・高校卒業者のうち進路決定者の割合	中99.2% 高98.2%	増加させる	37	社会教育主事有資格者養成数(5年平均)	17.8人	20人
13	読書が好きと感じている児童生徒の割合(公立小・中)	小73.7% 中75.2%	増加させる	38	地域社会における人権教育の指導者養成に係る県教委主催の研修会の受講者数(年間)	304人	320人
14	人権教育に関するサテライト研修等への県教委からの講師派遣回数	203回 (2013~2017累計)	250回 (2018~2022累計)	39	地域計画等(歴史文化基本構想を含む)の策定件数	-	3件
15	「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と思っている児童生徒の割合(公立小・中)	小87.8% 中85.3%	増加させる	40	文化財出前講座の実施校数	27校 (2013~2017累計)	95校 (2018~2022累計)
16	いじめの解消率(公立小・中・高、総合支援学校)	98.1%	100%に近付ける	41	学校芸術文化ふれあい事業を活用して、舞台芸術を鑑賞した公立小・中学生の割合(年間)	37.1%	維持・向上させる
17	1,000人当たりの不登校児童生徒数(公立小・中・高)	小・中11.4人 高4.1人	減少させる	42	県民のスポーツ実施率(週1回以上)	29.3%	65.0%
18	1,000人当たりの暴力行為発生件数(公立小・中・高)	3.9件	減少させる	43	市町立小・中学校の耐震化率	96.8%	早期に完了させる
19	全国体力・運動能力・運動習慣等調査(スポーツ庁)における、体力合計点の県平均点(公立小・中)	小5男子52.9点 小5女子54.3点 中2男子41.5点 中2女子49.4点	増加させる	44	市町立幼稚園の耐震化率	86.4%	早期に完了させる
20	朝食を毎日食べる児童生徒の割合(公立小・中)	小6: 95.9% 中3: 94.8%	増加させる	45	長寿命化(個別施設)計画策定率	10.0%	100%(2020中)
21	肥満傾向児の出現率	小5男6.06% 小5女6.33%	減少させる	46	日時等を事前に告げない避難訓練を実施している学校の割合(公立幼稚園・こども園、小・中・高、総合支援学校)	53.3%	増加させる
22	12歳児でむし歯(う歯)のない人の割合	64.7%	増加させる	47	教員一人当たり1か月平均時間外業務時間	小学校 40.8時間 中学校 56.7時間 県立学校30.5時間 (2019年度平均値)	小学校 28.6時間 中学校 39.7時間 県立学校30.5時間 (2019年度平均値)
23	総合支援学校高等部の就職希望生徒の就職決定率	94.6%	100%に近付ける	25	<推進指標4、16、17、18を再掲>	-	-
24	公立小・小・中・高校における特別な支援を必要とする幼児児童生徒についての個別的教育支援計画の作成率	-	100%	26	近隣等の中(小)学校と、教科的教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った小(中)学校の割合(公立小・中)	小77.2% 中83.2%	小100% 中100%
25	公立小・小・中・高校における特別な支援を必要とする幼児児童生徒についての個別の指導計画の作成率	-	100%	27	中学生が説明会(各高校で開催される体験入学や学校説明会等)に参加するために訪問した高校の数	1.39校	増加させる
26	義務教育段階から高等学校段階に進学、就職する生徒について、個別的教育支援計画を活用した支援情報の引継ぎ率	-	100%	50	子育て支援を行っている私立幼稚園の割合	96.8%	100%
				51	私立学校(幼・中・高)の耐震化率[2階以上又は200m以上の非木造施設]	84.5%	95% (2022末)

計画の着実な推進

市町教委、関係機関・関係団体等との連携

- 分かりやすい情報発信・広報活動による計画の周知。
- 学校、家庭、地域をはじめ、大学や民間企業等とも連携を図り、県民総参加による本県らしい特色ある教育を推進。

計画の進行管理

- PDCAサイクルの考え方に基づく点検・評価の実施。
- 教育関係の有識者で構成する「山口県教育振興推進会議」における意見を踏まえた点検・評価方法の見直しや、施策内容の見直し・改善などに反映。
- 社会・経済情勢の大きな変化や、国の制度改正などが生じた場合は、計画期間中においても、必要に応じて適宜・適切な見直しを実施。

◇詳しい情報はこちらへ ⇒ <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50100/kihonkeikaku/kihonnkeikaku.html>

山口県教育振興基本計画

検索